宇輝人

vol.100

つながりが生んだ講演会

生命科学の研究者、宇宙飛行士、アフリカで医療支援を続ける医師、文学や歴史の研究者など。文化講演会には、毎回さまざまな分野で第一線を走る講師が全国から招かれる。壇上では、自らの経験や人生観、研究内容が語られ、会場は耳を傾ける参加者の熱気に包まれる。その講演会を主催しているのが「文化講演会／宇城」だ。

同会は宇城市で生まれ育った高濱和夫（かずお）さんの発案、呼び掛けで2019年に発足。高濱さんが会長に就任した。2021年11月に第1回を開催し、年2回程度、講演会を開催している。

発足のきっかけは、長野県須坂（すざか）市で開催されている「信州岩波（いわなみ）講座」との出会い。その取り組みに刺激を受け、「宇城市でも『本物』の人とのその話を通して人が学び、心が動かされる文化講演会をつくりたい」と考えた高濱会長は、これまで築いてきた職場関係者や同級生などとのつながりを生かして仲間を集めた。多くの縁が結び付き、「宇城市だからこそ実現できる本物に触れる場」が形になっていった。

派手さより、心に残る一日を

この講演会は、著名人を招くことが目的ではない。その人の生き方や考え方に触れ、参加者が自身を見つめ直し、考える時間を届けること。それが文化講演会の目指す姿だ。

これまでに開催した講演会の中で来場者から特に反響が大きかったのが、アフリカで医療支援を続ける医師、川原尚行（なおゆき）さんの講演。外務省書記官という安定した道を離れ、現地での医療活動に身を投じた生き方は、聴衆たちの心を動かした。「火事を消すため、一滴ずつ水を運ぶ『ハチドリの一滴』の話を用いて、自分にできる小さな行動を積み重ねることの大切さを改めて考えさせられた」と、メンバーは振り返る。また、来場者からは「一生懸命生きている人の声、姿、心に出会える素晴らしい講演会」などの多くの声が寄せられた。

一方で、こうした心に残る講演を届けるまでには、講師の選定や会の運営など、多くの苦労があった。それでも、「本当に良いものなら、必ず地域に根付く」と信じ、一回一回の講演を丁寧に積み重ねてきた。

文化を次の世代へつなぐために

メンバーが口をそろえるのが、「若い世代にこそ、講演会に来てほしい」という思い。しかし、現状では若い世代の参加は少なく、大きな課題の一つになっている。さまざまな情報が簡単に手に入る時代だからこそ、「本物」の人やその言葉に直に触れ、その生き方や価値観を肌で感じてほしいと願う。

その思いを形にすべく、若い世代が足を運ぶきっかけとなるよう、子育てをテーマにした講演会を8月に予定していた。しかし、熊本地震の影響により、開催は延期に。被災を心配し、活動のきっかけとなった「信州岩波講座」から、義援金が寄せられた。遠く離れた地域から届いた支援に、文化を通して育まれた縁が、地域を越えて人々を結ぶことを、メンバーは改めて感じた。

「文化」とは、「その土地に根付き、人々の幸せにつながる営みであり、一朝一夕で生まれるものではなく、長い年月をかけて育まれていくものだ」と会は考える。

10年、20年先も、この講演会が市の誇りとして続いてほしい――。

そんな願いを胸に、文化講演会／宇城は、これからも「本物」に触れる場をつくり続けていく。



第5回講演会の講師 川原さん夫妻と来賓、文化講演会／宇城のメンバー

文化講演会／宇城

2019年発足。現在、幹事約40人で活動。年に2回程度の宇城市での講演会や熊本市などでのサテライト講演会などを行っている。

☎ 090-9477-3236　緒方

☎ 090-8289-3753　鶴田

「本物」との出会いがまちの文化を育てる



3



1



2

1 アフリカで医療支援を続ける川原尚行さんの講演会　2 会場には多くの人が訪れる
3 月に1回程度、幹事が集まり、講演会の運営などについて話し合う

子育てをテーマにした講演会を開催します！

※詳細は、分かり次第掲載予定です。

